

平成24年度 社会福祉法人 開成町社会福祉協議会 事業報告

はじめに

開成町社会福祉協議会は、一人ひとりの声を大切に、生涯にわたる生活を総合的に支えるしくみをコミュニティワークの実践をつうじて築いていくこと、「誰もが安心してイキイキと暮らせる福祉のまち かいせい」の実現をめざして、開成町福祉コミュニティプラン（平成23—27年度）の2年次にあたる平成24年度は、次の事業・活動に取り組みましたので報告いたします。

目次

	iv
I 地域福祉活動推進部門	
1 自治会福祉活動の支援	2
2 ボランティア活動の推進（ボランティアセンター）	4
3 当事者活動の支援	6
4 広報啓発事業の充実	9
5 福祉教育事業の充実	11
II 在宅福祉サービス部門	
6 総合相談・援護事業の充実	13
7 福祉サービスの利用支援	15
8 在宅福祉サービスの推進（介護保険外）	16
9 介護保険事業の推進	18
10 地域包括支援センター事業の推進	20
III 法人運営部門	
11 事業推進体制の整備	21

1 自治会福祉活動の支援

1 自治会福祉活動サポート事業の実施

内容	暮らしに身近な小地域（自治会エリア）において、さまざまな人々が互いにたすけあい、交流できるようにする取り組み（自治会福祉活動）が、それぞれの地区にふさわしい創意と工夫を活かしたものと主体的かつ継続的に展開できるように支援するために、サポート事業を実施しました（助成金の交付、地区担当職員の派遣等）。 具体的には、自治会福祉活動の推進に意欲的に取り組む自治会を実施主体とし、次のメュー例のうちいずれかを、地区の特性を活かしてすすめました。 ステップ1（基本事業） ①啓発活動 ～ ふれあい交流活動、広報啓発活動 ②援助活動 ～ 定期的訪問・見守り活動、ふれあい・いきいきサロン活動、その他 ステップ2（選択事業） ①認知症高齢者を支える活動 ②介護予防を目的とした活動
期日	通年
対象地区	①岡野、②金井島、③上延沢、④下延沢、⑤円中、⑥宮台、⑦牛島、⑧上島、⑨河原町、⑩榎本、⑪中家村、⑫下島 ⑬パレットガーデン *計13地区
助成額	計1,467,000円（*1地区上限130,000円、平均112,846円）
職員派遣回数	延73回（*全事業計/前年比2回減）

2 自治会福祉部連絡会等の開催

内容	各地区の事業進捗状況についての情報交換と今後の新たな活動展開及び課題についての意見交換等を行うために、連絡会（研修会）を開催しました。 ①研修会（講演会） i 報告 テーマ：東日本大震災被災地支援活動から学ぶ 報告者：高橋 政幸（開成町社協職員） 重山 勉 さん（神奈川県社協職員） ii 講演 テーマ：災害時におけるつながり・たすけあいの重要性 講師：石井布紀子 さん（NPO法人さくらネット代表理事） ②研修会（講演会） テーマ：活動の出発から ～めざそうボランティアの言葉のいらぬ街・支えあいの街～ 講師：南出 俊男 さん（横浜市千丸台地区社協会長）
期日	①7月13日（金） *計2回 ②2月27日（水） *①②とも足柄上1市5町社協合同
会場	福祉会館
参加者数	延82人（当町からの参加者）

3 地区別ふくし座談会の開催

内容	自治会福祉活動支援の一環として、役職員が町内全地区へ赴き、住民の方々と膝を交えながらこれからの福祉のありかた等とともに話し合うことにより、福祉活動における自治の実現をめざしたさまざまな取り組みのより一層の充実・発展を図るとともに、開成町らしい福祉コミュニティ（共助文化）づくりに寄与することを目的として座談会を開催しました（*隔年開催）。 ①説明 開成町のたすけあい活動はいまー ②意見交換等 ずっとこのまちで安心して暮らしていくためにー 疑問や不安を出し合って、解決へ向けてみんなで話し合いませんか！ なお、全地区終了後、お寄せいただいたすべてのご意見やご要望をテーマ別に分類・整理し、「報告書」として発行しました。
----	---

期日	① 9月15日 (土/岡野)	⑧ 11月10日 (土/上延沢)
	② 10月13日 (土/下延沢)	⑨ 11日 (日/榎本)
	③ 14日 (日/牛島)	⑩ 12日 (月/下島)
	④ 26日 (金/河原町)	⑪ 17日 (土/パレットガーデン)
	⑤ 27日 (土/円中)	⑫ 18日 (日/中家村)
	⑥ 27日 (土/宮台)	⑬ 25日 (日/金井島)
	⑦ 11月 7日 (水/上島)	*計13回
会場	当該地区の自治会館等集会施設	
参加者数	延231人	
共催	開催地の自治会	
その他	隔年開催のためH25なし	

4 コミュニティ推進用機材の貸出

内容	ふれあいと相互理解を広げる活動の促進を図るために、コミュニティ推進用機材を自治会等各種団体へ貸出し、活動を支援しました。			
期日	通年			
貸出件数	①スポーツマット	114件 (40)	⑩ペタンク用具	1件 (2)
	②ワイヤレスアンプ・マイク	84件 (2)	⑪スカイクロス	1件 (4)
	③ビデオプロジェクター	18件 (1)	⑫高齢者擬似体験セット	1件 (1)
	④ゴザ	8件 (1)	⑬ゲートボール用具	0 (5)
	⑤テント	8件 (3)	⑭グラウンドゴルフ用具	0 (8)
	⑥キーパー	8件 (3)	⑮輪投げ用具	0 (2)
	⑦募金箱	4件 (2)	⑯大鍋	0 (5)
	⑧毛氈	2件 (2)	*計	251件
	⑨めくり台	2件 (1)	* () は保有台数	

2 ボランティア活動の推進(ボランティアセンター)

1 ボランティア講座の開催

内容	ボランティア活動に興味のある方々を対象として、知識の習得と住民の主体的な福祉活動であるボランティア活動への参加を促進することを目的に、ボランティア活動入門編としての「手話講習会」と「AED講習会」を開催しました。		
①手話講習会(入門講座)			
期日	①2月15日(金)	④3月 8日(金)	
	② 22日(金)	⑤ 15日(金)	
	③3月 1日(金)	⑥ 22日(金)	
			*計6回
会場	福祉会館		
共催	大井町社協		
協力	手話サークルかたつむり、足柄上ろうあ福祉協会、手話サークル稲穂		
参加者数	延59人		
②AED講習会(救急法短期講習)			
期日	3月9日(土)		
会場	福祉会館		
協力	開成町赤十字奉仕団		
参加者数	12人		

2 ボランティア活動交流会の開催

内容	町内外で活動するボランティアグループ等が集い、お互いの交流を深め、情報と課題を共有し、ボランティアネットワークの拡大を図ることを目的に、交流会を開催しました。グループの活動紹介、情報・意見交換等。		
期日	3月19日(火)		
会場	福祉会館		
参加者数	8人(5グループ)		

3 ボランティアグループ等の育成・支援

内容	情報提供等を行うとともに、活動費の一部を助成し、活動を支援しました。		
期日	通年		
助成数	8グループ		

4 ボランティアセンター機能の整備・強化

内容	ボランティア活動に関する情報の整備・提供、相談及びボランティアの登録促進・育成等を行うことにより、ボランティアセンター拠点機能の整備・強化を図りました。		
期日	通年		
登録者数	①グループ	11グループ(172人)	*計 189人
	②個人	17人	*前年比1人減

5 災害ボランティア受入・派遣訓練

内容	災害ボランティアセンターの運営訓練を、足柄上1市5町社協合同にて実施しました。災害発生数日後を想定し、同センターを開設するとともに、ボランティアの受付・調整・派遣・帰着の一連の流れに従い訓練(シミュレーション)を行いました。		
期日	9月2日(土)		

会場	松田町健康福祉センター
参加者数	5人（当町からの参加者／職員）
共催	足柄上地区1市4町社協

6 車イスダンス広域交流事業「にこにこの会」の開催

内容	障がいをお持ちの方とボランティアや地域住民が車イスダンスを通じて交流を深めることを目的に、交流事業を開催しました。
期日	6月15日（金）
会場	山北町中央公民館
参加者数	7人（当町からの参加者）
共催	2市8町社協、西さがみ矢車草の会

3 当事者活動の支援

1) 高齢者関係

1 ふれあい交流会の開催

内容	各種在宅福祉サービス利用者や心身障がい者地域作業所れんげの会々員などが一堂に会 する社会参加の機会を提供し、相互の交流と仲間づくりを促進するために、交流会を開催 しました。 ①昼食会 ②余興 歌と交流 / 開成幼稚園 ジャズ演奏 / ビッキバンドジャズ研究会
期日	5月12日(土)
会場	福祉会館
参加者数	268人
主催	ふれあい交流会実行委員会(民生委員児童委員協議会、町社協)
協力	開成町(福祉課、保健介護課)、婦人会、個人登録ボランティア、(株)クレシア開成工場、 AXコーヒー店、明治ゴムマイカー自治会駐車場

2 敬老会の開催

内容	多年にわたり社会に貢献されてこられた70歳以上の高齢者の長寿を祝うとともに、高齢 者福祉を一層推進するために、敬老の日に際し敬老会を開催しました。 ①式典 敬老祝金品贈呈、敬老作文の朗読等 ②余興 歌と交流 / 酒田保育園 なお、町社協から長寿夫妻祝品として、①結婚60年夫妻(2組)並びに②同50年夫妻 (17組)へ記念写真とミニアルバムを贈呈させていただきました。
期日	9月17日(月)
会場	福祉会館
参加者数	300人
共催	開成町(福祉課)
協力	フォトあしがら、文化団体連絡協議会、婦人会
その他	司会は文命中学校福祉厚生部員 会場内に町祝金同封のお祝いメッセージ(開成南小学校4年生作品)を展示

3 老人クラブ連合会の育成・支援

内容	当事者の固有な課題の解決、相互援助活動の促進を図るために、活動を支援しました。
期日	通年

2) 障がい児者関係

1 足柄上郡障がい者ボウリング大会の開催

内容	障がいをお持ちの方の社会参加を促進する事業の一環として、ボウリング大会(コロナ キャットボウル小田原店招待事業)を開催しました。
期日	7月2日(月)
会場	コロナキャットボウル小田原店(小田原市)
参加者数	17人(当町からの参加者)
共催	足柄上郡5町社協

2 障がい児者ネットワーク会議の開催

内容	障がいをお持ちの方の生活を支援する一環として、関係機関・団体との情報の共有化と連携強化を図り、ネットワーク化をすすめるために、ネットワーク会議を開催しました。
期日	9月27日（木）
会場	福社会館
参加者数	9人
協力	身体障がい者福祉協会、心身障がい児者と家族の会かかかも、地域作業所れんげの会、地域作業所合力の郷、開成町（福祉課）

3 足柄上郡障がい者ふれあい体育祭への協力

内容	足柄上郡障がい者ふれあい体育祭実行委員会主催による体育祭に協力しました。
期日	10月7日（日）
会場	山北町中央公民館
参加者数	5人（当町からの参加者）
その他	本事業はH24にて終了

4 身体障がい者福祉協会と心身障がい児者と家族の会かかかもの育成・支援

内容	当事者の固有な課題の解決、相互援助活動の促進を図るために、活動を支援しました。
期日	通年

3) ひとり親家庭関係

1 ひとり親家庭ネットワーク会議の開催

内容	ひとり親家庭の生活を支援する一環として、関係機関・団体との情報の共有化と連携強化を図り、ネットワーク化をすすめるために、ネットワーク会議を開催しました。
期日	3月27日（水）
会場	福社会館
参加者数	5人
協力	母子寡婦福祉会つくしの会、足柄上保健福祉事務所、民生委員児童委員協議会

2 母子寡婦福祉会つくしの会の育成・支援

内容	当事者の固有な課題の解決、相互援助活動の促進を図るために、活動を支援しました。
期日	通年

3 ひとり親家庭生活実態調査の実施（新）

内容	ひとり親家庭の生活実態や施策・サービスへの要望等を把握し、課題や福祉ニーズを明確化するとともに、その解決へ向けて現行サービス改善の他、新規サービス創出のための基礎資料とするために調査を実施しました。
調査期間	2月2日（金）～3月5日（火）
対象	ひとり親家庭 計23世帯
その他	本事業はH24のみ

4) 子育て支援関係

1 子育て中の親子のサロン「チビっ子らんど」の開放

内容	福祉会館の一室（2F娯楽室、教養娯楽室）と3F人工芝バルコニー（ひよこ広場）を開放し、おもちゃ図書館的な要素を加味した子育て中の親子のサロンとしてチビっ子らんどを設置し、自由に交流や情報交換ができるスペースを提供しました。 また、毎月第2水曜には、ばたばたママの協力によるおはなし会を開催しました。 さらに、子育て支援センター酒田保育園の協力により、子育て相談や保護者の仲間づくりの一助となるよう、毎月1回チビっ子サロンも併せて開催しました。	
期日	①チビっ子らんど	毎週火・木曜（祝日除く）
	②チビっ子サロン	毎月1回木曜
	③ひよこ広場	通年
会場	福祉会館	
参加者数	延996人	
協力	ばたばたママ、子育て支援センター酒田保育園	

4 広報啓発事業の充実

1 広報紙「社協だよりかいせい」と「かいせい社協かわら版」の発行

内容	町社協活動・事業のPRと福祉情報の提供、福祉意識の啓発・醸成のために広報紙を発行し、町内全世帯、賛助会員及び関係機関等へ配布しました（自主財源確保の一環としての紙面への広告掲載含む）。		
1) 社協だより（A4/8頁）			
発行日	① 5月1日（No.158）	④12月1日（No.161）	
	② 7月1日（No.159）	⑤ 1月1日（No.162）	
	③ 9月1日（No.160）	⑥ 3月1日（No.163）	*計6回
発行部数	5,300部		
2) かわら版（A4/4頁）			
発行日	① 4月1日（No.77）	④10月1日（No.80）	
	② 6月1日（No.78）	⑤11月1日（No.81）	
	③ 8月1日（No.79）	⑥ 2月1日（No.82）	*計6回
発行部数	5,100部		

2 社会福祉大会の開催

内容	<p>永年にわたり社会福祉に貢献された方々の功績を称えるとともに、東日本大震災の復興支援と住民参加の福祉のまちづくりをめざして、社会福祉大会を開催しました。</p> <p>①式典 功労者等表彰・感謝、福祉作文コンクール等入選者表彰、福祉作文朗読等</p> <p>②ドキュメンタリー映画上映 311：ここに生きる</p> <p>③その他 ともしびコーナー（障がい者向けIT展示・体験等）、福祉車両・機器展示・相談コーナー、各種当事者団体等活動紹介、共同募金</p>		
期日	10月28日（日）		
会場	福祉会館		
参加者数	300人		
後援	開成町（福祉課）、開成町教育委員会、自治会長連絡協議会、民生委員児童委員協議会、婦人会、共同募金会開成町支会、神奈川県社協		
協力	開成・開成南小学校、文命中学校、老人クラブ連合会、身体障がい者福祉協会、心身障がい児者と家族の会かろがも、母子寡婦福祉会つくしの会、地域作業所れんげの会、地域作業所合力の郷、フォートあしがら、㈱明治ゴム化成、ミクニ書店、ネットヨタ湘南(株)開成店、メディカルサービスおかもと、富士ライフサポート		

3 福祉図書・ビデオの貸出

内容	情報提供の一環として、福祉図書・ビデオのコーナーを設置し、貸出しました。		
期日	通年		
会場	福祉会館		
貸出件数	①本	40件 *計	40件
	②ビデオ	0	*チビっ子らんど貸出分含む

4 ホームページの公開・更新

内容	町社協活動・事業のPRと福祉情報の提供、福祉意識の啓発・醸成のためにホームページを公開・更新しました（福祉会館各部屋の予約状況公開含む）。
----	---

5 地区別かいせい社協説明会の開催

内容	<p>広報・福祉啓発の一環として、広く住民の方々の福祉への理解と関心を高めていただくために、町社協の事業・活動を紹介するとともに、福祉情報の収集と効果的な提供機能を充実・強化していくことを目的として、自治会の組長会議等において説明会を開催しました。</p>	
期日	<p>① 5月15日（水／河原町） ② 19日（土／宮 台） ③ 20日（日／下 島） ④ 6月16日（土／牛 島） ⑤ 17日（日／上 島）</p>	<p>⑥ 7月21日（土／下延沢） ⑦ 8月18日（土／岡 野） ⑧ 9月16日（日／榎 本） ⑨10月13日（土／円 中） ⑩ 21日（日／中家村） *計10回</p>
会場	当該地区の自治会館等集会施設	
参加者数	延314人	
共催	開催地の自治会	

6 ともしびカレンダー作成（絵柄・標語コンクール）への協力

内容	<p>ともしび運動の普及・啓発と併せて、福祉活動への主体的な参画意識を育むために、小・中学校の児童・生徒を対象として、ともしび運動推進協議会主催により行われるコンクールと入選作品のカレンダー化に協力するとともに、完成したカレンダーを公共機関等へ配布しました。</p>		
募集期間	7～8月		
審査会期日	9月24日（月）		
応募数	1) 絵柄	2) 標語	
	①小学生	5点	①小学生 94点
	②中学生	0	②中学生 6点
	③一般	0	③一般 0
	*計	5点	*計 100点
作成部数	300部		
協力	開成・開成南小学校、文命中学校		

5 福祉教育事業の充実

1 ボランティア体験学習の開催

内容	福祉施設等におけるボランティア体験を通して、福祉に対する理解と関心を深め、世代間交流のなかで人間としてのあり方、生き方をみつめ、他人を認め合う豊かなこころを育むことを目的として体験学習を開催しました。 高齢者・障がい児者・園児との交流、親子ふくし教室の受付、共同募金資材分け等。
期日	①事前説明会 7月21日（土） ②ミニ・デイサービス 8月 5日（金）、26日（金） ③レスパイトサービス 7月25日（水）～8月27日（月）の間の5日間 ④親子ふくし教室 8月20日（月） ⑤共同募金 8月24日（金） ⑥開成幼稚園託児協力 7月24日（火）～8月23日（木）の間の6日間 *計16回
会場	福祉会館、開成幼稚園
参加者数	延8人
後援	開成町教育委員会
協力	開成幼稚園、文命中学校

2 小学生ふくし一日教室の開催

内容	福祉施設における体験等をおして、障がいをお持ちの方に対する理解と関心を深め、他人を思いやるやさしい福祉の心を育むことを目的として一日教室を開催しました。 施設見学、視覚・聴覚障がいに関する講話、点字・手話体験、聴導犬・盲導犬訓練デモンストレーション等。
期日	①7月26日（木） ③8月 1日（水） ②7月31日（火） *計3回
会場	聴覚障がい者福祉センター（藤沢市）、神奈川県ライトセンター（横浜市）、日本盲導犬総合センター富士ハーネス（富士宮市）
参加者数	延72人
後援	開成町教育委員会
協力	開成・開成南小学校、聴導犬育成の会、ボランティアグループ四つ葉

3 親子ふくし教室の開催

内容	夏休み期間を利用し、子どもたちが福祉について考えるきっかけづくりとしてさまざまな体験機会を提供し、学校で行う総合的な学習の時間の取り組みにつなげるとともに、子どもたちだけでなく保護者層もともに体験することにより、自分自身や社会のあり方を考え、身近な地域の課題を解決できる力を育ていけるようにとの願いをこめ、ふくし教室を開催しました。 誘導・車イス・手話・点字体験、自助具、福祉車両、福祉会館見学等。
期日	8月20日（月）
会場	福祉会館
参加者数	180人
後援	開成町教育委員会
協力	ボランティアグループ四つ葉、あしがら車椅子トイレマップの会、足柄上ろうあ福祉協会、手話サークルかたつむり、福祉ボランティア点字グループ若葉、メディカルサービスおかもと、富士ライフサポート、神奈川県社協

4 小・中学生福祉作文コンクールの実施

内容	<p>作文をとおして社会連帯を基調とした福祉への理解と関心を深め、福祉活動への主体的な参加意識を育むために、小・中学校の児童・生徒を対象にコンクールを実施しました。審査会では、小・中学生の部それぞれに優秀賞3篇（町社協会長賞、共同募金会開成町支会長賞、開成町教育長賞）、優良賞2篇、佳作5篇の各10篇を選出しました。</p> <p>また、入選作品を文集化し、小・中学校や社会福祉大会にて配布するとともに、敬老会と社会福祉大会にて入選された児童・生徒に朗読・発表いただきました。</p> <p>なお、上位作品を神奈川県福祉作文コンクール（神奈川県共同募金会等主催）に応募したところ、次の方が入選されました。</p> <p>小学生の部（佳作）：川本 啄巳 さん（開成小6年）</p>		
募集期間	7～8月		
審査会期日	9月27日（木）		
応募数	①小学生	381篇 ②中学生	34篇
		*計	415篇
後援	開成町教育委員会		
協力	開成・開成南小学校、文命中学校		

5 福祉ふれあい教育推進事業への助成・支援

内容	<p>酒田・酒田みずのべ保育園、開成幼稚園、開成・開成南小学校、文命中学校及び吉田島総合高等学校が各々実施する福祉ふれあい活動に対して助成するとともに、講師の派遣や情報提供等を行い、活動を支援しました。</p> <p>①開成小学校4年生～総合的な学習の時間～公共施設見学（福祉会館） ②同 ～共に生きる（視覚障がい者の誘導体験、交流会）</p> <p>③文命中学校1年生～総合的な学習の時間～福祉体験（手話） ④吉田島総合高等学校～かるがもクリスマス会協力（フラワーアレンジメント） ⑤同 2・3年生～福祉科社会福祉基礎福祉体験プログラム（誘導・車イス・点字・手話体験等）</p> <p>*計12回</p>		
期日	通年		
助成数	3校（開成小学校、文命中学校、吉田島総合高等学校）		
協力	ボランティアグループ四つ葉、手話サークルかたつむり、あしがら車椅子トイレマップの会OB、点字グループ若葉、金子 孝吉 さん、長谷川リウ子 さん、金井恵美子 さん		

6 福祉教育関係者連絡会の開催

内容	福祉教育事業とボランティア育成事業との整理を前提として、福祉教育プログラムの充実と継続的な支援体制の確立及び学校等教育機関との連携強化を図るために、連絡会を開催しました。		
期日	①7月18日（水）	②3月18日（月）	*計2回
会場	福祉会館		
参加者数	延20人		
協力	酒田・酒田みずのべ保育園、開成・開成南小学校、文命中学校、吉田島総合高等学校、開成町教育委員会		

7 （資格取得のための学生等）実習生の受入

内容	社会福祉士資格取得をめざす学生を、その実習先として受け入れました（社会福祉援助技術現場実習）。また、神奈川県立保健福祉大学からの依頼を受け、地域・在宅支援課程（高齢者支援の実際）の実習生も併せて受け入れました。		
期日	通年（実習期間は1人あたり概ね1週間～1ヶ月） *計4回（4人）		

6 総合相談・援護事業の充実

1 総合生活相談の実施

内容	住民の皆さんの日常生活上のあらゆる相談に応じ、関係機関との連携のもと、適切な助言と援助を行うことにより、福祉ニーズの問題把握から解決までの一貫した相談援助体制を確立するために、総合生活相談所を開設しました。 一般相談及び専門相談（法律・法務）。		
期日	1) 一般相談	毎月第2・4火曜	計23回
	2) 専門相談		
	①法律	毎月最終 火曜	計12回
	②法務	毎月第 3土曜	計12回
			*計47回
会場	福祉会館		
相談員数 及び 同 件数	1) 一般相談（相談員：民生委員児童委員）	2人/回	1件
	2) 専門相談		
	①法律（相談員：弁護士）	1人/回	28件
	②法務（同：行政書士）	2人/回	17件
			*計46件
同 内訳	①財産・相続	16件	⑤家族 3件
	②土地	6件	⑥事故 3件
	③住宅	6件	⑦権利擁護 2件
	④離婚	5件	⑧その他 10件
			*計（重複あり）51件
協力	民生委員児童委員協議会、横浜弁護士会、小田原行政書士会		

2 生活福祉資金の貸付（*県社協受託事業）

内容	低所得、障がい、高齢者世帯等の生活の安定及び修学のために必要な資金の貸付と相談指導を行いました。		
期日	随時		
相談件数	126件（生活福祉資金115件、総合支援資金11件）		
貸付件数	1件		
協力	民生委員児童委員協議会		

3 小口（緊急）資金の貸付

内容	教育、自立更生、疾病治療、生活安定等のために緊急に必要な資金の貸付と相談指導を行いました。		
期日	随時		
相談件数	114件		
貸付件数	9件（計165,000円）		

4 年末たすけあい援護費の支給

内容	年末たすけあい募金（神奈川県共同募金会開成町支会主管）へ寄せられた寄付金の一部を激励金として町内2ヶ所の障がい者地域作業所へ配分しました。		
期日	12月20日（木）		
内訳	①れんげの会	100,000円	②合力の郷 20,000円
		*計	120,000円

5 交通遺児援護費の支給（*県社協受託事業）

内容	交通遺児を激励するために、該当者の小・中学校及び高等学校の各入学・卒業時に激励金を支給しました。
期日	3月15日（金）
支給件数	1件（高等学校卒業1件）

6 災害見舞金の支給

内容	町民が災害等により被害を受け、罹災された世帯に対して、見舞金を支給しました。 *全焼20,000円（県共募50%、本会50%）
期日	3月22日（金）
支給件数	2件（全焼2件）

7 福祉サービスの利用支援

1 日常生活自立支援事業の実施（*県社協受託事業）

内容	判断能力が不十分な高齢者や障がいをお持ちの方の日常生活上の金銭管理、財産の保全及び福祉サービスの利用を支援するために、日常生活自立支援事業を受託・実施しました。	
期日	通年	
契約締結 審査会	奇数月第2木曜	*計6回 *足柄上5町社協合同設置・開催
相談件数	延329件	
訪問活動件数	延230件	
契約者数	13人（うち、新規2人 終了3人）	
支援員数	1人（非常勤職員）	

2 福祉対象者カルテの整備・活用

内容	在宅での援助を必要とする高齢者や障がいをお持ちの方等の個別状況を把握し、適切なサービス提供へつなげることとあわせて、関係機関・団体との情報の一元化を図るために、名簿を整備し活用しました。	
期日	通年 *更新2回/年（8、2月）	
連携先	開成町（福祉課）、地域包括支援センター、民生委員児童委員協議会	
その他	（開成町）災害時要援護者登録制度と協働	

8 在宅福祉サービスの推進(介護保険外)

1 福祉機器貸与事業の実施

内容	在宅で日常生活をおくことに支障のある高齢者や障がいをお持ちの方等に対し、必要とする福祉機器を貸与し、その在宅生活を支援しました。			
	対象			
	①高齢者または身体障がい者（要介護認定された方除く）			
	②要介護認定され、介護保険給付サービス「福祉用具貸与」を利用する方（給付まで）			
	③介護保険給付サービス「福祉用具貸与」の対象外の福祉機器を利用する方			
	④一時的に負傷し、福祉機器が必要な方			
	⑤町外在住の方を一時的に預かる方			
期日	通年			
利用件数	①車イス	54件（27）	④シャワーイス	2件（4）
	②ベッド	14件（8）	*計	81件
	③ポータブルトイレ	11件（10）	*（）は保有台数	
利用者数	延68人（団体含む）			

2 ふくし移送サービスの実施

内容	歩行困難な高齢者や障がいをお持ちの方に対し、日常生活上の移手段による利便提供として、ふくし移送サービスを実施しました。 *福祉有償運送対応事業			
期日	通年			
	1) 目的地別			
	①足柄上病院	56件	⑦神奈川リハビリセンター	1件
	②北小田原病院	25件	⑧厚木佐藤病院	1件
	③東海大学病院	3件	⑨丹沢病院	1件
	④佐藤病院	3件	⑩あずみ苑	1件
利用件数	⑤小田原市立病院	2件	⑪草の家	1件
	⑥徳洲会病院	1件	⑫メゾン開成	1件
			*計	96件
	2) 内容別			
	①通院	94件	②入所・退所（施設）	2件
			*計	96件
登録者数	①利用者	28人（うち、実利用者21人、新規12人）		
	②支援者	3人（在宅福祉サポーター／運転業務）		

3 軽度生活援助事業の実施

内容	65歳以上の高齢者のみの世帯等に対し、軽易な日常生活上の援助を行い、自立した生活の継続を可能にするため、軽度生活援助事業を実施しました。			
期日	通年			
	1) 派遣別			
	①社会福祉協議会	616件	②シルバー人材センター	33件
			*計	649件
利用件数	2) 内容別			
	①清掃、整理整頓	414件	④買い物	22件
	②栄養管理（調理等）	205件	⑤外出、通院介助	1件
	③庭の手入れ	32件	⑥その他	88件
			*計（重複あり）	762件

登録者数	①利用者	18人（うち、実利用者数11人、新規6人）
	②支援者	2人（在宅福祉サポーター／ヘルパー）

4 ミニ・デイサービス「ふれあい金曜会」の実施

内容	<p>外出することの少ない高齢者がつどい、ふれあいのなかから相互の交流と仲間づくりを図ることにより、孤独感の解消と社会参加を促進するために、ミニ・デイサービスを実施しました。</p> <p>おしゃべり、歌、散歩、レクリエーションゲーム等。</p> <p>また、健康づくりの一環として、いきいき健康体操を毎回実施。アクセントイベントとしてあじさい見学や外食会を実施したほか、ゲスト等を招き、ともに楽しいひとときを過ごしました。</p>	
期日	毎月第2・4金曜	*計24回
会場	福祉会館他	
参加者数	延539人（ボランティアスタッフ含む）	
協力	ミニ・デイサービスボランティア・スタッフ、杉の子会、秀駒会（三味線）、おむすびころりん（人形劇）、ライリッシュ・オカリナ、マザーズベル（ハンドベル）	

5 レスパイト（障がい児者家族等の休息）サービスの実施

内容	<p>養護学校等に通う児童・生徒の夏休み期間中に、障がいをお持ちの方を一時的に預かり、介護者の身体的・精神的な負担軽減と、当事者の情緒安定等を図ることを目的として、レスパイトサービスを実施しました。</p> <p>水遊び、歌、レクリエーションゲーム、散歩、工作、おやつづくり等。</p>	
期日	①7月25日（水）	④8月22日（水）
	②8月 3日（金）	⑤ 27日（月）
	③ 6日（月）	*計5回
会場	福祉会館他	
参加者数	延69人（ボランティアスタッフ含む）	
協力	開成町（福祉課）、民生委員児童委員協議会、小田原養護学校、個人協力ボランティア	

6 広報紙「社協だよりかいせい」等点字・録音版の発行

内容	<p>広報紙「社協だよりかいせい」の発行に合わせ、点字・録音版を製作し、視覚に障がいをお持ちの方へ貸し出しました。</p>	
発行回数	6回	
協力	ボランティアグループ四つ葉、福祉ボランティア点字グループ若葉	

9 介護保険事業の推進

1 居宅介護支援事業の実施

内容	介護保険法等関係法令に従い、利用者に対し可能な限り居宅においてその有する能力に応じた自立した日常生活を行うために必要な居宅サービスが利用できるよう、「居宅サービス計画（ケア・プラン）」を作成するとともに、当該計画に基づいて適切な居宅サービスの提供が確保されるよう、サービス事業者等との連絡調整及びその他の便宜を図りました。	
期日	通年	
契約者数	73人	
利用者数	延637人	*前年比105人減
その他	詳細「資料1」のとおり	

2 “介護予防”居宅介護支援事業の実施

内容	開成町地域包括支援センターからの委託を受け、要支援の方の「介護予防サービス計画」を作成するとともに、当該計画に基づいて適切な介護予防サービスの提供が確保されるよう、介護予防サービス事業者等との連絡調整及びその他の便宜を図りました。	
期日	通年	
契約者数	6人	
利用者数	延29人	*前年比31人減
その他	詳細「資料1」のとおり	

3 通所介護事業の実施

内容	介護保険法等関係法令に従い、利用者に対し可能な限り居宅で自立した日常生活を営むために、介護給付対象となる機能訓練やレクリエーション、給食、入浴等の通所介護事業を行いました（対象：要介護1～5／予防給付対象者と一体化）。 プログラム・メニューとしては、午前はタオル体操や歌、ゲームのほか、あじさい見学等の季節に応じた行事を、午後はカレンダーづくり等さまざまな作品づくりをつうじて、手指の訓練を目的とした創作活動をそれぞれ実施しました。	
期日	毎週月～金曜（国民の祝日・12月29日～翌年1月4日を除く）	*計244回
会場	デイサービスセンター（福祉会館1F）	
契約者数	31人（うち、新規登録8人、登録抹消7人）	*前年比 3人減
利用者数	延2,459人（うち、入浴サービス利用者2,101人）	*前年比142人減
その他	H25から時間延長（従前：午前9：50～午後4：00⇒新：午前9：40～午後4：10） 詳細「資料2」のとおり	

4 “介護予防”通所介護事業の実施

内容	介護保険法等関係法令に従い、利用者に対し可能な限り居宅で自立した日常生活を営むために、介護予防給付対象となる機能訓練やレクリエーション、給食、入浴等の通所介護事業を行いました（対象：要支援1～2／介護給付対象者と一体化）。 プログラム・メニューは、上記通所介護事業と同。	
期日	毎週月～金曜（国民の祝日・12月29日～翌年1月4日を除く）	*計244回
会場	デイサービスセンター（福祉会館1F）	
契約者数	6人（うち、新規登録4人、登録抹消3人）	*前年比 1人増
利用者数	延226人（うち、入浴サービス利用者122人）	*前年比69人増
その他	H25から時間延長（従前：午前9：50～午後4：00⇒新：午前9：40～午後4：10） 詳細「資料2」のとおり	

5 事業所の効果的・効率的な運営（経営）システムの研究

内容	居宅介護支援事業及びデイサービスセンター事業（通所介護、介護予防通所介護）において、提供する各サービスの質をより高めるために、日々のサービス提供を通じて、利用者各位のアセスメント・モニタリングを強化し、意見徴収を含めたニーズ把握に努めました。
期日	通年

6 デイサービスセンター意向調査の実施（新）

内容	デイサービスセンター事業（通所介護、介護予防通所介護）のご利用者・ご家族の意向・要望等を把握し、今後のより質の高いサービス提供・運営に反映していくことを目的として、アンケート形式による調査を実施・集計するとともに、報告書を作成しました。
調査期間	1月15日（火）～1月31日（木）
対象	平成25年1月1日現在利用登録されているご本人またはご家族 計26人
その他	本調査結果を理事会・評議員会に報告するとともに、結果を踏襲した改善の一環として25年度からサービス提供時間を上記のとおり20分延長しました。

10 地域包括支援センター事業の推進（新）

1 包括的支援事業の実施

内容	二次予防の対象者が要介護状態になることを予防するため、心身の状況に応じて対象者自らの選択に基づき、介護予防事業を効率的に活用できるよう介護予防プランを作成しました。		
1) 介護予防ケアマネジメント業務			
プラン立案数	①包括分	448件	②他事業者分 *計
			134件 582件
相談件数	延5,842件		
	①要支援認定者の介護保険利用者数	延582人	
その他	②サービス未利用要支援者へのアプローチ数	延 10件	
	③認定結果の説明（訪問）数	延103回	
2) 総合相談・支援業務			
相談件数	延474件		
3) 権利擁護業務			
相談件数	延 44件（うち、虐待関係44件）		
4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務			
相談件数	延268件 *他事業者からの相談件数		
その他	詳細「資料3」のとおり		

2 二次予防対象者把握事業の実施

内容	開成町が必要と認めた二次予防対象者に対し、心身機能の低下を防ぎ、いつまでも住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう、健康状態や生活状況を確認し、必要なサービスや相談を行っていくことを目的として調査を実施しました。		
相談件数	延308件		
	①二次予防ケアマネジメントの実施数	延146件	
その他	②通所型介護予防事業 「からだ壮快！ふれあい塾」の開催	1クール11回コース×2クール 参加者数：延114人	
	詳細「資料3」のとおり		

3 その他

内容	①地域ケアねっとわーく会議、②町（保険健康課）との連絡調整会議、③部門間ミーティングを毎月各1回開催		
その他	詳細「資料3」のとおり		

11 事業推進体制の整備

1) 会務等

1 理事会の開催

内容	執行機関である理事会を、福祉会館にて6回開催しました。 H24改選時（H24.06）から定数減（従前：16人⇒新：12人）
①	
期日	5月7日（月）
出席者数	理事：15人、監事：2人
議題	①平成23年度事業報告について ②平成23年度一般会計決算について 監査報告 ③平成24年度一般会計補正予算について ④評議員の選任について ⑤その他
②	
期日	6月1日（金）
出席者数	理事：11人、監事：1人
議題	①正副会長の選任について ②理事担当部会の選出について ③その他
③	
期日	8月28日（火）
出席者数	理事：10人、監事：2人
議題	①敬老会の開催について ②共同募金の実施について ③社会福祉大会の開催について ④その他
④	
期日	10月5日（金）
出席者数	理事：11人、監事：2人
議題	①社会福祉大会の開催について ②敬老会の反省について ③役員視察研修の実施について ④その他
⑤	
期日	12月3日（月）
出席者数	理事：11人、監事：1人
議題	①平成25年度予算編成について ②共同募金の配分について ③社会福祉大会の反省について ④その他
⑥	
期日	2月28日（木）
出席者数	理事：11人、監事：2人
議題	①通所介護事業運営規程の一部改正について ②顕彰規程施行細則の一部改正について ③平成24年度一般会計補正予算について ④平成25年度事業計画について ⑤平成25年度一般会計予算について ⑥その他

2 監事会の開催

内容	監査機関である監事会を、福社会館にて3回開催しました。
①	
期日	4月25日（水）
出席者数	監 事：3人
議題	平成23年度事業及び会計に関する決算監査
②	
期日	9月21日（金）
出席者数	監 事：3人
議題	平成24年度（4～7月）事業及び会計に関する中間監査（第1回）
③	
期日	1月22日（火）
出席者数	監 事：3人
議題	平成24年度（8～11月）事業及び会計に関する中間監査（第2回）

3 評議員会の開催

内容	議決機関である評議員会を、福社会館にて2回開催しました。 H24改選時（H24.05）から定数減（従前：40人⇒新：26人）
①	
期日	5月24日（木）
出席者数	評議員：18人、理 事：4人、監 事：1人
議題	①平成23年度事業報告について ②平成23年度一般会計決算について 監査報告 ③平成24年度一般会計補正予算について ④役員を選任について ⑤その他
②	
期日	3月22日（金）
出席者数	評議員：22人、理 事：4人、来 賓：2人
議題	①通所介護事業運営規程の一部改正について ②顕彰規程施行細則の一部改正について ③平成24年度一般会計補正予算について ④平成25年度事業計画について ⑤平成25年度一般会計予算について ⑥その他

4 理事担当部会（総務、事業）の開催

内容	理事担当部会（総務、事業）を、福社会館にて計4回開催しました。
1) 総務部会	
①	
期日	9月24日（月）
出席者数	総務部会担当理事等：5人
議題	①平成24年度事業（上半期）の進捗状況について ②法人運営課題と今後の事業展開について ③その他 *終了後、ともしびカレンダー絵柄・標語選考

②

期日	2月4日（月）
出席者数	総務部会担当理事等：5人
議題	①顕彰規程及び同施行細則について ②会員制度・会費について ③その他

2) 事業部会

①

期日	9月18日（火）
出席者数	事業部会担当理事等：7人
議題	①社会福祉大会の開催について ②地域福祉活動推進事業及び在宅福祉サービス事業の各進捗状況について ③その他

②

期日	2月5日（火）
出席者数	事業部会担当理事等：6人
議題	①地域福祉活動推進事業及び在宅福祉サービス事業の各現状と課題について ②その他

5 トップミーティング（経営者会議）の開催

内容	トップマネジメント構築へ向けた合意形成を図るために、正副会長、常務理事、事務局長、事務局次長の計6人によるミーティング（理事会開催前の事前協議等）を、福祉会館にて5回開催しました。	
期日	① 5月 1日（火） ② 8月22日（水） ③ 9月25日（火）	④11月28日（水） ⑤ 2月20日（水） *計5回

6 役員研修会の開催

内容	役員研修会を、2回開催しました。	
1) 役員視察研修会		
期日	11月14日（水）	
出席者数	理 事：7人、監 事：2人	
内容	組織経営基盤の強化へ向けた取り組みを先進事例に学ぶ ～社協経営における理事会と事務局双方の機能強化策を中心に～ 視察先：逗子市社協	
2) 足柄上地区・西湘地区（2市8町）社協役員合同研修会		
期日	11月30日（金）	
会場	山北町中央公民館	
出席者数	理 事：6人、監 事：2人	
内容	地域福祉を推進していくために ～日常生活圏域での活動の活性化へ向けて～ 講 師：稲 葉 一 洋 さん（立正大学教授）	

7 役員選考委員会の開催

内容	役員任期満了に伴い、新たな役員候補者を選考するための委員会を、福祉会館にて1回開催しました。
----	--

期日	4月9日（月）
出席者数	選考委員（評議員）：8人
議題	①役員の選出区分等について ②その他

8 福祉コミュニティプラン進行管理委員会の開催

内容	福祉コミュニティプラン（かいせい社協実施計画H23-27）の着実な遂行と評価及び必要な補正等を行うことを目的として、同プラン進行管理委員会（委員：11人／喜多 祐荘委員長、石塚 利夫 副委員長）を、福祉会館にて2回開催しました。
①	
期日	8月27日（月）
出席者数	委員：6人
議題	①平成24年度事業（上半期）の進捗状況について ②平成25年度の重点課題について ③その他
②	
期日	3月5日（火）
出席者数	委員：7人、オブザーバー：1人
議題	①平成24年度事業の進捗状況及び成果について ②平成25年度事業の計画案及び方向について ③その他

9 職員会議の開催

内容	職員の資質・専門性の向上と情報・課題意識の共有化を図るために、職員会議を福祉会館にて開催しました。
1) 常勤職員ミーティング	
期日	毎週1回 *会長・常務理事含む
2) その他（居宅、通所、給食、包括 各部門別ミーティング）	
期日	毎月各1回

10 職員の資格取得促進と各種研修等への参加

内容	職員の資質・専門性の向上を図るために、神奈川県社協等主催による各種研修会・研究会に随時積極的に参加しました。
----	--

2) 財源の確保

1 会員加入の促進と会員構成の拡充

内容	住民組織、公私社会福祉事業関係者をはじめ、幅広い分野からの参加を得、地域社会の総意を結集することとあわせて、社会福祉への関心の喚起、町社協への参加意識の醸成のために、一般会員は全世帯加入を、賛助会員は新規加入促進を各々目標に、町社協会員の募集と会費徴収を行いました。	
募集月間	7月	
加入結果	①一般会員（一般世帯） *年額1口 500円～	3,938世帯（4,409口／加入率65.9%） *前年比26世帯増
	②同（各種団体） *年額1口 500円～	60団体（ 511口） *前年比 9団体増
	③賛助会員（法人、企業等） *年額1口3,000円～	125社（ 226口） *前年比 1社増
協力	各自治会等	

2 寄付寄託者の拡大

内容	住民の皆さんから寄せられた善意の寄付金品等を受け入れるとともに、寄付寄託者の拡大を図り、自主財源の確保に努めました。 また、賛同いただいた企業や商店等に募金箱「善意の小箱」を設置させていただき、積極的に寄付金を募りました。	
期日	通年	
寄付件数	①寄付“金”	63件
	②寄付“品” *計	8件 71件 *前年比2件減
同 金額	①一般受付分	970,623円
	②善意の小箱（*設置協力店舗数：48店舗）	84,491円
	*計	1,055,114円 *前年比146,782円減

3 福祉基金の増強

内容	果実（利息）等を自主事業の安定した財源とするために、寄付金収入等により福祉基金の増強に努めました。	
期日	通年	
積立等結果	①平成24年度積立額	0
	②同 取崩額	821,000円
	③累計	80,000,000円

4 共同募金の実施

内容	神奈川県共同募金会開成町支会主管による共同募金に協力しました。 なお、お寄せいただいた寄付金は、①赤い羽根共同募金分については神奈川県共同募金会へ全額送金するとともに、②年末たすけあい募金分については一部施設への配分を除き、翌年度の町社協事業費として活用させていただきます。		
募金月間	10～12月		
同 結果	①戸別募金	2,088,500円	⑤学校募金 217,263円
	②街頭募金	71,696円	⑥その他の募金 32,688円
	③法人募金	209,000円	*計 2,772,056円
	④職域募金	152,909円	*前年比85,431円増
戸別募金協力	各自治会		
街頭募金協力	町長、町議会議員、民生委員児童委員協議会、地域作業所れんげの会、地域作業所合力の郷、吉田島総合高等学校		

3) 連絡調整機能の充実

1 公私社会福祉事業関係機関・団体等との連携

内容	<p>公私社会福祉事業関係機関・団体等と連携し、協働事業の推進を図りました。 なお、他機関・団体からの要請・依頼に応じ、本会役職員が着任・参画した委員会等は、次のとおりです。</p> <table border="0"> <tr> <td>①開成町 総合計画審議会</td> <td>委員</td> <td>(会長)</td> </tr> <tr> <td>②同 高齢者保健福祉事業運営協議会</td> <td>同</td> <td>(事務局長)</td> </tr> <tr> <td>③同 次世代育成支援対策地域協議会</td> <td>同</td> <td>(担当職員)</td> </tr> <tr> <td>④神奈川県社協 コミュニティワーク実践検討会</td> <td>同</td> <td>(同)</td> </tr> <tr> <td>⑤足柄上郡福祉会(あしがら広域福祉センター)</td> <td>評議員</td> <td>(事務局長)</td> </tr> </table>	①開成町 総合計画審議会	委員	(会長)	②同 高齢者保健福祉事業運営協議会	同	(事務局長)	③同 次世代育成支援対策地域協議会	同	(担当職員)	④神奈川県社協 コミュニティワーク実践検討会	同	(同)	⑤足柄上郡福祉会(あしがら広域福祉センター)	評議員	(事務局長)
①開成町 総合計画審議会	委員	(会長)														
②同 高齢者保健福祉事業運営協議会	同	(事務局長)														
③同 次世代育成支援対策地域協議会	同	(担当職員)														
④神奈川県社協 コミュニティワーク実践検討会	同	(同)														
⑤足柄上郡福祉会(あしがら広域福祉センター)	評議員	(事務局長)														
期日	通年															
連携先	開成町、自治会長連絡協議会、民生委員児童委員協議会、共同募金会開成町支会、ともしび運動推進協議会、NPO、近隣社協															

2 地域福祉研修会の開催(新)

内容	<p>地域福祉推進の中核たる社協を構成する関係者が集い、地域福祉と社協の役割について改めて学びあい、それぞれのいまとこれからを考えるために、研修会を開催しました。</p> <p>①レポート これからの地域福祉とかいせい社協の戦略</p> <p>②意見交換等 誰もが安心してイキイキと暮らせる福祉のまちをめざして</p>
期日	3月11日(月)
会場	福祉会館
参加者数	15人(理事:7人、監事:1人、評議員:7人)

3 福祉会館の管理・運営(*指定管理者制度事業)

内容	<p>福祉会館の施設・設備の維持・管理並びに利用に伴う運営を行いました。また、利用案内等を広報紙に随時掲載し広くPRに努めるとともに、開成町とも連携を密にし施設利用の充実を図りました(本会ホームページ上にて福祉会館各部屋の予約状況公開含む)。 また、①酒田・酒田みずのべ保育園及び②開成幼稚園の園児、③開成・開成南小学校や④文命中学校の児童・生徒の絵画等作品を、年間をつうじて会館1Fに展示しました。</p>
期日	通年
利用回数	延 2,589回 *前年比 217回減
同者数	延59,875人 *前年比1,571人減
その他	詳細「資料4」のとおり

4 民生委員児童委員協議会の運営・支援

内容	地域福祉推進のパートナーたる同協議会の事務局として、運営を支援しました。
期日	通年 *定例会及び役員会:毎月各1回開催